

全国 デコ テスト で 特別賞

プログラム制御技術競う

ごみ分別装置を製作

有明高専



特別賞を受けたチームコムロンの4人

大牟田市東萩尾町の有明工業高等専門学校創造工学科の学生が「第5回PLC（プログラムブル・ロジック・コントローラー）制御コンテスト」に同校としては初めて出場。ごみの分別装置を製作し、特別賞を受賞した。

PLCとは、機械の動きを制御する電子機器でエアコンやエレベーター、車など身の回りのさまざまな機械に組み込まれている。コンテストは、このPLCを製造するオムロンと高専機構の共同教育プロジェクトの一環。全国の高専6校から7チームが出場し、「オリンピックを制御で盛り上げよう」をテーマに、学生たちがさまざまなアイデア

の作品を製作。当初は東京で審査が行われる予定だったが、新型コロナウイルスの影響で、インターネットを通じたウェブ審査が今月3日に行われた。同校からは、有明広域産業技術振興会と飯塚市のタカハ機工から部品などの支援を受け、2チームが出場した。エネルギーコース4年の小室卓登さん(19)がリー

ダーを務めたチーム「コムロン」は、オリンピック開催で生じる困り事を解決しようとして、ごみ問題に着目。4人のメンバーが協力して製作に当たり、PLCでカメラやセンサー、ベルトコンベアなどを制御しペットボトルや紙コップ、空き缶を識別して仕分けすることができる装置を完成させ、特別賞(企業賞)を受賞した。小室さんらは「春休みに入った2月20日ごろからは毎日学校で製作作業をしました。入賞できてうれしい。また違うコンテストにも出場してみたい」と抱負を述べた。

また、情報システムコース4年の西島佐介さん(19)がリーダーを務めたチームは5人で出場。的をコンピュータで認識し、その指示を受けたPLCが弓の向きを調整して矢的に射る装置を製作した。西島さんらは「情報システムコースとエネルギーコースの力を組み合わせて良いものができました。審査で魅力を伝

(矢野 大輔)